

## 「新大学の実現に向けて」のアンケート調査の結果について

- |            |   |
|------------|---|
| 1 対象者      | 在学生   |
| 2 アンケートの方法 | 学生ポータル上で実施  |
| 3 実施期間     | 平成26年1月15日（水）～平成26年2月5日（水）  |
| 4 質問内容     | ①新大学に期待すること<br>②「新大学案（平成25年10月版）」についての意見、質問等  |
| 5 アンケート結果  |   |
| I 回答数      | 28件   |
| ・所属内訳      | 学域（現代システム科学域：4、工学域：8、生命環境科学域：4）<br>学部（工学部：5 経済学部：1、人間社会学部：2）<br>大学院（工学研究科：3、看護学研究科：1） |
| ・学年内訳      | 学士課程（1回生：9、2回生：7、3回生：6、4回生：2）<br>大学院（M1：2、M2：1、D1：1）                                  |

### II 回答内容（要約）

#### ①新大学に期待すること

##### ●教育・研究に関すること

- ・教育環境の充実（図書館の司書の配置や蔵書・学習場所の拡充等）。
- ・研究環境の充実（研究費の増加、実験設備の拡充、研究室のエアコン設置等）。
- ・学生生活の充実（生協等の店舗の拡大等）。
- ・医療と工学の融合。
- ・優秀な教員の配置。

##### ●その他

- ・期待していない（統合に反対）。
- ・現状維持が良い。
- ・受験生にとって、大学の選択肢が減少する。
- ・今の学域制が十分生かされること。
- ・府大は学域制が始まったばかりで改革が性急。
- ・府大という名称の存続。

#### ②-1「新大学案（平成25年10月版）」についての意見

##### ●新大学案全体に関すること

- ・新大学に期待している。
- ・府大、市大それぞれ良いところがあり、大学統合には反対。
- ・新大学の具体的な内容や統合によるメリットの記載が必要。
- ・在校生への影響の記載が必要。

●教育組織、キャンパス等に関すること

- ・学域学類はぜひ残してほしい。
- ・学部と学域とが併存する必要があるのか不明。
- ・学部と学域が併存すれば、学域制改革が無意味に感じる。
- ・地球未来理工学部は中身が分かりにくい。名称を変更すべき。
- ・キャンパスを集約化してほしい。
- ・経営組織のみを統合し、教学組織は分離して運営することはできないか。

②-2 「新大学案（平成 25 年 10 月版）」についての質問

質問（要点）	回 答
在學生に対し、説明責任を果たせているのか。	<p>本学では、これまで新大学に係る検討状況について、ホームページを活用し、在學生をはじめ、ステークホルダーの皆様に対し、適宜、情報提供を行っているほか、学生団体との連絡会議においても、情報提供をしてきたところです。</p> <p>今後とも、状況に応じて、情報の提供や説明等を行ってまいります。</p>
全学共通教育の一元化する場合、どこのキャンパスで実施する予定なのか。	<p>全学共通教育のキャンパスの一元化については、新大学案（平成 25 年 10 月版）において、「同じ大学に入学した学生としての一体感を高め帰属意識を深めるためにも、必要な措置である」としています。</p> <p>しかしながら、全学共通教育のキャンパスの一元化も含め、将来のキャンパス像については、今後、「キャンパスプラン（仮称）」の検討を進めることとしており、キャンパスプランの検討状況については、ホームページ等を通じ、情報提供を行ってまいります。</p>
学部・学域の再編について、もっと詳細な内容を示すこと。	<p>新大学における教育・研究組織については、新大学案（平成 25 年 10 月版）の別表において、現在、検討中のものを示していますが、今後、段階的に制度設計の熟度を高めていくこととしており、学部・学域等教育・研究組織の検討状況については、ホームページ等を通じて、情報提供を行ってまいります。</p>
クラブや学生団体の扱いはどうなるのか。	<p>クラブや学生団体の扱いについては、今後の検討課題と考えており、関係者の意見も十分に尊重し、検討してまいりたいと考えています。</p>

<p>在学生への影響はどこまであるのか。</p>	<p>新大学案（平成 25 年 10 月版）において、「新大学設置後も、現在の両大学の学生が卒業するまで、両大学は存続するものであり、教育・研究の質及び環境は保証する」「特に、歴史・伝統のある両大学を志願された在学生の思いを重く受け止め、大学統合のプロセスの中で、混乱や不信を招くことのないよう、十分な配慮を行う」こととしていますので、安心して勉学に励んでください。</p> <p>なお、新大学に係る検討状況については、ホームページ等を通じて、情報提供を行ってまいります。</p>
<p>大阪府と大阪市の意向が変われば、大学統合はなくなるのか。</p>	<p>新大学案（平成 25 年 10 月版）は、府市が策定した「新大学ビジョン」に基づき、府市及び両大学において策定したものです。</p> <p>新大学案（平成 25 年 10 月版）においては、「今後国内外の大学間競争で厳しさが増すことが想定される中、統合により、機能と資源を効果的に活用し、さらに高い教育・研究体制を実現できるものとして判断した。」としています。</p> <p>大学統合については、本学がこれまで進めてきた改革をさらに進展させるものと受け止めているところであり、今後とも引き続き検討を進めることとしています。</p>
<p>新大学案は今後、大幅な変更が加えられることはあるのか。</p>	<p>新大学案（平成 25 年 10 月版）は、府市及び両大学で、これまで検討した新大学の基本的な事項についてとりまとめたものです。</p> <p>新大学案（平成 25 年 10 月版）については、今後段階的に制度設計の熟度を高めていくこととしており、今後の検討過程の中で変更する可能性もあります。</p>